

授業公開シート（美術）

授業者 書き込み欄			
授業者	飯村 浩晃	授業場所	美術教室
公開日	2019年 11月 1日 金曜日 5限	教科・学年	美術・1年
授業内容の簡単な説明	タイトル：プレゼンテーションで教材選びをリードしよう		
<p>美術用教材カタログから、自分たちが授業で制作したい内容を班で1つに絞り、他班に「その教材の制作を通して、どんな力をつけたいのか、鍛えたいのか、伸ばしたいのか」や「ワクワクする魅力」をプレゼンテーションし、投票で決定する活動をおこなう(本時は2時間中2時間目)</p> <p>受動的に教師から提案された教材を制作するのではなく、生徒一人ひとりが教材選びの段階から関わることで、教材の内容理解や制作時間などの見通し、教材の魅力や得たい資質・能力等を生徒自身が主体的に意識して題材に取り組みせたい。</p> <p>なお資質・能力は教師が用意した候補の中から選び(例えば伝統工芸に関わる内容であれば「我が国や郷土や伝統や文化を受け止める」や、木箱などの木彫であれば「形や色の造形要素に着目してデザインの働きを捉える」や「造形的な特徴からイメージを捉える」など)、必要に応じてアレンジすることとした。</p> <p>また今回は立体制作とし、千円以内、美術が苦手な生徒も無理なく楽しめるものと限定した。</p>			
ねらい	※どのような見方・考え方を働かせて、どのような資質・能力を高めたいと考えていますか？		
<p>想像力を働かせ、その教材で「どんな力をつけたいのか、鍛えたいのか、伸ばしたいのか」や、その教材の「ワクワクする魅力」を意識することで、次時からの制作に向けて、効果的に造形的な見方・考え方を活かした表現の活動の見通しをもつことができる。</p>			
中心となる課題や問い	質疑応答時、「その教材の制作を通して、どんな力をつけたいのか、鍛えたいのか、伸ばしたいのか」や「ワクワクする魅力」を他班から引き出す声掛けをする。		
個を活かすための授業の工夫	プレゼンテーションに向けて班での打ち合わせ時、机間指導で、どうすれば、より効果的で魅力的な発表ができるのか、生徒どうしでアドバイスする。		
生徒の学習活動			形態
導入	<ul style="list-style-type: none"> ■前時のふりかえり (前時で、プレゼンテーション用のデータを提出するところまで進んでいる) (本時は、プレゼンテーションと投票をおこなう) 		一斉
展開	<ul style="list-style-type: none"> ■プレゼンテーションに向けて班での打ち合わせ ■プレゼンテーション、質疑応答 質疑応答では、他班からも、その教材で得られる資質・能力や魅力を発表し合う。 ■投票 (Googleフォームを、Google Classroomで配信) 		班一斉
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ■ふりかえりシート(Googleフォームを、Google Classroomで配信) 自分が出したアイデア プレゼンテーションにどう貢献したか 授業を通しての感想、などを問うふりかえりを行う。 		個人
評価の仕方	発表スライド(ロイロノート・スクール)、ふりかえりシート(Googleフォーム)		

メモ欄

参観者 書き込み欄

参観者

ねらい

※ねらいにせまれていましたか？

折
り
線

個を活かすための授業の工夫

授業スキル

良かったところ

改善した方が良いと感じたところ

感想